

令和5年(2023年)8月23日

令和5年度(2023年度)第1回宗谷地域雇用ネットワーク会議NEXT 議事録

北海道宗谷総合振興局

- 1 日 時 令和5年(2023年)7月25日(火)15:30~17:00
- 2 場 所 宗谷合同庁舎4階大会議室及びオンライン(ZOOM)
- 3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
- 4 内 容 以下のとおり

(1) 講演

「新入社員の意識と行動を考える 一定着率を高めるために」

講師：学校法人稚内大谷学園 稚内大谷高等学校 校長 平岡 祥孝 氏

(2) 議題

① 構成団体・機関からの報告について

ア 稚内市から説明

・ジョブフェア 2022 開催報告(資料2-1)

○金内主査

ジョブフェアは、地元の子どもたちにより早いうちから地元の産業を知ってもらい、充実した産業教育やインターンシップに繋げ、将来的な地元就職やUターンの促進を図ることを目的に、平成30年度から実施している。主催は稚内商工会議所青年部、稚内市、稚内市教育委員会、稚内で働こう応援会議となっている。昨年度は、稚内市内の中学1年生を対象に、令和4年11月8日(火)に稚内市総合体育館にて開催。稚内市内の6校が参加しており、参加生徒数は前年度より若干少ない195名だったが、参加企業数は44社と前年度よりも8社増加した。今年度も11月9日(木)に実施する予定であり、詳細が決まり次第お知らせする。

・今年度の人材確保の取組(資料2-2)

○金内主査

稚内市では中小企業向けに中小企業振興助成金を支給しており、その中の人材確保等支援事業助成金について、人材不足への支援策として採用活動促進事業を新規に追加した。具体的な支援内容は、就職情報サイト等への掲載や採用に関するホームページの新規作成・改修などにかかる費用、動画作成に要する広告料、外部委託費などを助成対象とし、助成額は上限15万円(補助率1/2)。

また、昨年度に引き続き、首都圏からのUIJターン就業者に移住支援金を支給しており、18歳未満の方を帯同した際の金額が、今年度、1人あたり30万円から100万円に増額した。これらの助成金について、ホームページなど様々な場面で周知に務めており、皆様におかれましては何かの際に周知いただければ幸い。

・若者応援プロジェクト（資料2-3）

○金内主査

稚内市では、今年から（株）TomoniSolutions と連携し、若者応援プロジェクトを進めている。（株）TomoniSolutions は、高校生新卒採用情報サイトの運営や採用コンサルティング事業を行っており、道内の方向に直接出向いて就職に向けた講話や説明会進路相談会を実施している会社となっている。稚内市としても、地元企業の PR と、進学・就職等で地元を離れてしまう若者を上手く結びつけながら地域活性化に繋げていきたいという目的で本プロジェクトを進めている。令和5年7月15日（土）に稚内高校で行われた就職希望の3年生向けの就職ガイダンスを一緒に行ったほか、今後も、企業説明会などのイベントを実施していく予定。

イ 質疑応答（有・無）

② 振興局からの報告について

ア 事務局（宗谷総合振興局）から説明

・振興局における人手不足対策、担い手確保・育成の取組について（資料3-1）

○高田課長

振興局が実施する人手不足対策、担い手確保・育成の取組について、主なものをいくつか紹介させていただく。はじめに、地元就職・定着に関する取組として、「てっぺん宗谷 de しごと発見フェア」は、高校1・2年生を対象とした企業展示会を開催するもので、去年は企業・団体33社、管内5校239人が参加した。

「労働関係セミナー」は、昨年度、職場内の世代間ギャップや外国人材の入社前後ギャップの解消に向けたセミナーを開催したものの。開催時期やテーマは未定だが、今年度もセミナーを開催する予定であり、ぜひ参加いただきたい。

人材確保の取組については、大学生に宗谷地域及び酪農を PR する「宗谷酪農セミナー」や都市部で開催される「移住交流フェア」などに出展している。

福祉・介護人材の育成については、福祉・介護サービス従事者の定着支援や資格取得などに向けた研修実施に対する支援を行っている。

移住・定住にむけた取組として、ポータルサイトでの情報発信やパンフレットの配布などと併せて移住相談を行っている。

企業情報や地域の魅力発信に向けては、令和4年3月から、管内企業情報や宗谷で活躍する人取材し、魅力ややりがいなどをホームページやSNSで発信をしているところ。

一次産業の担い手確保・支援については、最初に農業分野では「真・農業人フェア」への出展や「宗谷農業出前事業」の開催など、宗谷の酪農を PR する取組を行っているほか、「SOYA ルーキーズ☆カレッジ」や女性農業者グループ「ff 宗谷」の取組支援など、若手農業者の育成や受入環境づくりを行っているところ。加えて、林業分野では学校訪問やインターンシップの受入支援などの取組を行っているほか、水産業においても、宗谷で活躍する事業者を紹介する冊子や動画により、漁業の魅力発信している。

- ・外国人技能実習生（特定技能）について（資料3-2）

○高田課長

外国人材の受入の観点では、昨年12月から国の有識者会議において、技能実習制度及び特定技能制度の見直しに向けた検討が進められており、先般提出された中間報告では、これまでの技能実習制度に人材確保を目的に加えた新たな制度の創設を行う方針が発表されたところ。今年の秋に最終報告が出される予定で、いくつか示されている検討の方向性を紹介する。また、特定技能制度については、令和5年6月9日に、熟練外国人労働者として永住可能な在留資格特定技能2号の受け入れ対象分野を現在の2分野から9分野追加し11分野に拡大する運用方針が閣議決定された。追加された分野としては、農業や漁業、製造業関係など人手不足が続いている業種。

技能実習制度の見直しに関する検討の方向性としては、将来的に見込まれる特定技能への移行が円滑になるように、対象職種や分野を一致させるなど特定技能制度との一体的な制度運用を図ることや、これまでの技能実習制度では原則認められていなかった転籍制限の緩和などが検討されている。一方で、技能実習生として働く外国人材がより良い労働条件を求め転籍することが可能となった場合に、技能実習生の奪い合いに繋がることを不安視する事業者の声も聞かれているところ。今後の見直し状況については、情報収集を行い引き続き経過をお知らせする。

- ・LINE 公式アカウント『宗谷総合振興局「てっぺん宗谷」』の運用について（資料3-3）

○高田課長

管外に流出した若年者のUターン就職を促進するため、今年1月にLINE公式アカウント『宗谷総合振興局「てっぺん宗谷」』を開設した。こちらでは、管内の「元気な企業」で活躍する「元気な人」を取材し、魅力ややりがい、後輩へのメッセージなどを月に1回発信している。こうした取組のPRについては、今年1月8日に開催された成人式「稚内市20歳の集い」に振興局ブースを設置し、公式アカウントのPRカードを配布したほか、稚内空港やJR駅、バスターミナル、フェリーターミナルなどにポスターを掲示し、PRカードの配布を行った。なお、現在の登録者数は、7月20日時点で251名となっている。

イ 質疑応答（有・無）

③ 意見交換

ア 事務局（宗谷総合振興局）から説明

- ・管外からのU I ターン促進について（資料3-4）

○高田課長

意見交換の前に管内の現状について少し説明すると、資料のとおり、管内では出生数の減少とともに、若年層が管外流出しているということで、若年層が流出するから出生数も減り、子どもも減っていくという悪循環があると考えます。人口についても、15年で2割程減っている。また、進学希望と管外就職希望をあわせて概ね300名近い生徒が流出しているため、地元に向けた策を考える必要がある。こうしたことを踏まえ、管外に流出した若年者に情報発信するための

LINE 以外の取組や、LINE の取組についてより興味の引く内容のご提案、また、登録者を増やすために有効な PR 活動などについて皆様からご意見をいただきたく思う。

イ 質疑応答 (有 ・ 無)

・ ハローワーク 稚内

○ 小間統括職業指導官

ハローワークではオンラインを通じたサービスを進めている。例えば求人を出す企業の方には、求人者マイページを開設していただくことで、オンラインで求人の申込が可能となっている。仕事を探す側の方についても、求職者マイページの開設を行い、オンラインで求職登録をすることができる。ハローワークに来所することなく登録できるため、在職中の若年層を中心に浸透することによって、求人者が直接求職者マイページを持っている求職者にリクエストなどでアプローチができたりする。就業場所として稚内その他宗谷管内の地域を希望している求職者に対してそういったアプローチができれば、UI ターン、UI J ターンの促進が図れるものではないかと期待をしているところ。今後、皆様が開かれるイベントなどにおいて、求人情報提供や求職者への周知等でもしお手伝いできることがあればご協力させていただきたいと思うので、ぜひお声をいただければ幸い。

以上